

患者の皆様へ

2020年7月1日
呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「機械学習を用いた画像情報による予後不良肺癌組織型型の予測」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当科において肺癌に対し手術を行った患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「機械学習を用いた画像情報による予後不良肺癌組織型型の予測」

2. 研究の意義・目的 「術前の胸部画像検査で予後の悪い一部の肺癌を検出することができれば、より効果的な治療法につながる可能性があり、胸部画像検査での予後不良肺癌組織型型の検出を目的とします。」

3. 研究の方法

2013年1月から2018年12月までに当院で肺癌に対して手術を行った患者さんを対象とし、診療録を調査し、臨床病理学的情報（登録番号、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴、画像検査の画像および結果、採血結果、肺機能検査、病歴、治療法、病理組織診断など）、予後を含めた検討を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、データの匿名化を行い、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかか

る棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。また、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて
掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器病態外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器外科

医師 中島 崇裕

043 (222) 7171 内線 5464

